



平成24年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 ジャパンパイル株式会社
コード番号 5288 URL <http://www.japanpile.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒瀬 晃

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理統括室長 (氏名) 重松 徹

TEL 03-5843-4192

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	23,128	0.3	151		327		126	
23年3月期第2四半期	23,202	4.0	134		15	93.8	1,692	

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 118百万円 (%) 23年3月期第2四半期 1,846百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	4.98	
23年3月期第2四半期	64.89	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	38,098	10,536	27.5
23年3月期	38,303	10,544	27.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 10,460百万円 23年3月期 10,507百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期		0.00		5.00	5.00
24年3月期		0.00			
24年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	46,000	1.8	300		600		500		19.67

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 社 (社名) 、 除外 1社 (社名) ジャパンパイル製造(株)
(注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動,をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用,をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 有
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示,をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	26,151,292 株	23年3月期	26,151,292 株
期末自己株式数	24年3月期2Q	733,242 株	23年3月期	733,180 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	25,418,091 株	23年3月期2Q	26,082,319 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災により、前半は大きな影響を受け、後半には若干持ち直す展開となりましたが、期を通しての景気の回復という状況には至りませんでした。

このような状況ではありましたが、当社グループが主として属するコンクリートパイル業界は、大震災で遅れていた物件が動き出したことや、復興の緊急対策の効果等もあり、全体として当期は回復傾向となりました。

当社におきましても、コンクリートパイル部門の売上高は順調に推移しましたが、場所打ち杭部門と鋼管杭部門が当初の見込みを下回る結果となったことから、売上高は231億28百万円（前年同四半期比0.3%減）と前年同期の水準に留まることとなりました。一方、利益面では、一昨年から取組んでいる最適生産体制の構築により、固定費の削減や生産効率の向上が実現し製造原価が低減した結果、売上総利益率は改善しました。販売費及び一般管理費につきましても、引き続き効率的な使用・削減に努めたこともあり、賞与負担が増大したにもかかわらず、前年同期を約6%上回るに留まりました。これらの成果により、営業利益は1億51百万円（前年同期は営業損失1億34百万円）、経常利益は3億27百万円（前年同期は経常利益15百万円）となりました。また、四半期純利益につきましては、投資有価証券評価損などを特別損失に計上したことから、1億26百万円（前年同期は四半期純損失16億92百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2億5百万円減少し380億98百万円となりました。主な要因は、売上債権を中心として流動資産が7億61百万円増加したものの、減価償却などにより有形及び無形固定資産が3億59百万円、時価の下落などにより投資有価証券が1億92百万円、長期繰延税金資産が4億29百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億96百万円減少し275億62百万円となりました。主な要因は、未成工事受入金が4億39百万円、賞与引当金が2億97百万円増加したものの、有利子負債が2億65百万円、長期繰延負債が4億85百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

純資産は、四半期純利益計上による増加1億26百万円、配当金の支払いによる減少1億27百万円、その他有価証券評価差額金の減少46百万円、少数株主株式持分の増加37百万円等の結果、前連結会計年度末に比べ8百万円減少し105億36百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日の決算短信で発表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、ジャパンパイル製造(株)は平成23年4月1日付でジャパンパイル(株)に吸収合併され消滅したため、連結の範囲から除いております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却の方法の変更)

従来、建物（建物附属設備を除く）及び一部の工場の自動化製造設備を除き定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より全ての有形固定資産の減価償却方法について定額法に変更いたしました。この変更は、前連結会計年度に完了した最適生産体制への取り組みにより、工場を集約し市場環境に適した生産体制を再構築したことを契機としたものであり、当該取り組みに伴い生産設備を中心とした稼働状況等の検討を実施したところ、今後は市場環境に適した安定的な稼働が見込まれ、また、修繕費等の維持コストも稼働状況に応じて安定的に推移すると想定されることから、定額法に基づく減価償却が設備の稼働実態をより適切に表し、合理的な費用配分を可能にすると判断したことによるものであります。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて減価償却費は97百万円減少し、営業利益は70百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は76百万円それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,730	5,809
受取手形及び売掛金	13,470	13,905
未成工事支出金	2,412	2,064
商品及び製品	2,072	2,465
原材料及び貯蔵品	536	535
その他	321	448
貸倒引当金	93	18
流動資産合計	24,450	25,211
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,987	3,987
その他(純額)	6,670	6,385
有形固定資産合計	10,658	10,372
無形固定資産		
のれん	22	20
その他	503	431
無形固定資産合計	525	451
投資その他の資産		
その他	2,983	2,380
貸倒引当金	322	324
投資その他の資産合計	2,661	2,055
固定資産合計	13,845	12,880
繰延資産	7	6
資産合計	38,303	38,098

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,707	5,495
ファクタリング未払金	8,858	9,047
短期借入金	1,300	1,300
1年内返済予定の長期借入金	1,550	1,550
1年内償還予定の社債	200	170
未払法人税等	91	59
賞与引当金	-	297
その他	1,159	1,697
流動負債合計	18,867	19,618
固定負債		
社債	210	140
長期借入金	3,775	3,670
退職給付引当金	233	260
役員退職慰労引当金	102	101
負ののれん	1,209	1,062
その他	3,360	2,708
固定負債合計	8,891	7,943
負債合計	27,758	27,562
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,815	2,815
資本剰余金	4,348	4,348
利益剰余金	3,651	3,651
自己株式	156	156
株主資本合計	10,659	10,659
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	152	198
その他の包括利益累計額合計	152	198
少数株主持分	37	75
純資産合計	10,544	10,536
負債純資産合計	38,303	38,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	23,202	23,128
売上原価	20,366	19,819
売上総利益	2,835	3,308
販売費及び一般管理費	2,970	3,156
営業利益又は営業損失()	134	151
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	13	15
負ののれん償却額	147	147
貸倒引当金戻入額	-	72
その他	100	65
営業外収益合計	263	302
営業外費用		
支払利息	90	85
その他	23	40
営業外費用合計	113	126
経常利益	15	327
特別利益		
固定資産売却益	7	2
負ののれん発生益	124	-
その他	5	-
特別利益合計	137	2
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	17	49
事業構造改善費用	1,992	-
投資有価証券評価損	64	115
その他	3	4
特別損失合計	2,077	168
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	1,924	161
法人税等	242	2
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	1,682	164
少数株主利益	10	37
四半期純利益又は四半期純損失()	1,692	126

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	1,682	164
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	163	46
その他の包括利益合計	163	46
四半期包括利益	1,846	118
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,856	80
少数株主に係る四半期包括利益	10	37

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。